

R3年5月18日(火)

テーマ：身につけよう！正しい知識と使える看護技術

講師：教育委員

場所：看護研修センター

参加者：午前 15名 午後 12名

今年度の研修会が始まりました。

今年の看護技術研修は、研修中の密を避けるため、午前と午後の2部に  
分かれて開催した。

### 静脈注射および点滴静脈内注射法ブース



ほぼ受講者と教育委員のマンツーマンで細やかな指導

### 経鼻的胃管栄養法・吸引ブース

胃管の管理方法と吸引方法の  
指導



### 導尿ブース



一時的導尿についてシミュレーター  
モデルを使って実施  
教育委員が準備物品と手順を説明中

R3年5月23日(日)

テーマ：感染管理に必要な最新知識

講師：永崎 昌枝先生 公立那賀病院  
感染管理認定看護師

場所：ビッグU (田辺市)

参加者：32名

管理者対象の研修会で、病院勤務の方だけでなく介護施設からの参加者もいた。



新型コロナウイルス感染症を中心に講義をしてくれる。  
「1 患者 1 日あたりの手指衛生回数や感染率の計算方法」・「症候群サーベイランスをどのように考え調査を進めるか」など演習問題を通して考えていった。

また、昼休憩中に各自の質問を紙に書いて提出し、それを午後の講義で講師が説明して受講生全員が共有した。

研修の中ではなかなか出ないが、「紙に書いて」ということで非常に多くの質問があった。

コロナ禍どのように対応すればいいのか悩みながら、勤務されていますが、解決の糸口がつかめたのではないのでしょうか。

R3年5月26日(水)

テーマ：感染予防の基礎を学ぼう！

～患者さんとあなたを守るために～

講師：則村 大輔先生 和歌山県立医科大学附属病院  
感染管理認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：59名

午前は講義、午後から防護具の使用方法を演習した。



前後の2人組でガウン・キャップの着脱を行う。  
1名が実施。もう1名ができているかのチェックを行った。

N95マスクの着脱方法を演習する。  
ひものかけ方が分かりにくい受講者も多かった。



R3年5月29日(土)

テーマ：ステップ1 いまさら聞けない看護研究

講師：辻 あさみ先生 和歌山県立医科大学保健看護学部  
教授

場所：ビッグU (田辺市)

参加者：18名

ねらい：看護研究の考え方及び研究計画書について学び、実際に取り組むための準備ができる。また、計画段階で統計処理をするための方法を考えることができる。



参加者の経験年数は1年から21年以上と幅広い。

さあ！ 取り組んでみよう!!

看護職が「研究する必要性」を具体的にわかりやすく説明していただいた。

受講者の意見

「グループワークや質問がなかったので、リラックスできてよかった。わかりやすかった。」

日々の業務の中からテーマを導き出す方法

疑問からリサーチクエスト（研究課題）へ

- 1 その疑問には個人的な感情が含まれていないか。
- 2 一般的に起こりうる現象ではないのか。
- 3 その疑問は知識があれば解決する疑問ではないか。
- 4 起こっている事実や現象を客観的に評価できる疑問か。
- 5 その疑問は研究として取り上げるだけの価値がある疑問か。（研究の意義）
- 6 その疑問から新しい発見やさらなる問題解明に結びつく疑問か。